

P=ポイント

国内	
5日	4月の基本給2.3%増加、実質賃金はマイナス 4月の毎月勤労統計調査(速報)によると、基本給にあたる所定内給与は26万4,503円で前年同月比2.3%増加。一方、物価の影響を考慮した実質賃金は同0.7%減少し、25カ月連続マイナス。
7日	4月の実質消費支出0.5%増、14カ月ぶりプラス 4月の家計調査で、2人以上世帯の消費支出は1世帯当たり31万3,300円と、物価変動を除いた実質で前年同月比0.5%増となり、14カ月ぶりのプラス。プラス定着は賃上げの浸透がカギ。
10日	5月の景気ウォッチャー調査、3カ月連続低下 5月の景気ウォッチャー調査によると、現状判断指数(DI、季節調整値)は前月比1.7P低下し45.7。3カ月連続で低下しており、景気は緩やかな回復基調にあるものの、インフレへの懸念は根強い。
10日	5月の全国企業倒産、10年10カ月ぶりに1,000件超え 東京商工リサーチによると、5月の全国企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が1,009件(前年同月比42.9%増)、負債総額は1,367億6,900万円(同50.9%減)だった。件数は10年10カ月ぶりの1,000件超え。
12日	4月の実質GDP、自動車出荷の回復で前月比0.6%増 日本経済研究センターによると、4月の国内総生産(GDP)は物価変動を除いた実質で559兆9,832億円と前月比プラス0.6%。自動車を中心に消費財出荷が増加し、民間消費もプラス推移。
19日	5月の訪日外客数、3カ月連続300万人超え 日本政府観光局(JNTO)によると、5月の訪日外客数は304万100人で、前年同月比60.1%増となり3カ月連続で300万人を突破。訪日客の急増に伴い、宿泊業では人手不足が続く。
19日	5月の貿易収支、1兆2,213億円の赤字 5月の貿易統計速報によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は1兆2,213億円の赤字。赤字は2カ月連続なるも、自動車や半導体などの輸出がけん引し、赤字幅は前年同月比11.6%縮小。
21日	5月の消費者物価指数、2.5%上昇 5月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が107.5となり、前年同月比2.5%上昇。電気代が同14.7%増などエネルギー関連価格の上昇が影響。
26日	円下落、一時160円30銭台 37年半ぶりの安値 26日の外国為替市場で、対ドルの円相場が一時1ドル=160円39銭まで下落。バブル経済が始まった1986年12月以来、37年半ぶりの円安・ドル高水準。

県内	
4日	移動サービス「九州マース」8月1日開始 本県を含む九州7県や交通事業者などでつくる協議会は、次世代移動サービス「九州Maas(マース)」を8月1日から開始すると発表。公共交通の利用拡大や経済活性化を目指す。
5日	本県2023年出生率1.49、過去2番目の低さ 人口動態統計(概数)によると、女性が生涯に産む子どもの推定人数「合計特殊出生率」は2023年、本県1.49と過去2番目の低さ。全国では沖縄県に次ぐ2位だったが、本県でも少子化が加速。
5日	2023年県内所得納税185億円、過去10年で最多 熊本国税局によると、2023年の県内の所得税の納税額は185億円(前年比16.0%増)と、過去10年間で最多。
6日	2023年度スポーツキャンプ・合宿、コロナ前水準に回復 県によると、2023年度の県外からのスポーツキャンプ・合宿の受け入れ団体は前年度比19.21%増の1,024団体、延べ参加人数は同3.72%増の17万4,660人。コロナの5類移行や屋外施設の利用開催が追い風。
6日	5月の県内企業倒産5件、負債総額3億200万円 民間信用調査機関3社が発表した5月の県内企業倒産集計(負債額1千万円以上)は、件数が前年同月比3件増の5件、負債総額は同67.8%増の3億200万円だった。
13日	法人企業景気予測調査、4期ぶり「下降」超 宮崎財務事務所によると、4~6月期の法人企業景気予測調査は、本県の全産業の景況判断指数(BSI)がマイナス10.5となり、2023年4~6月期以来4期ぶりに「下降」が「上昇」を上回った。
14日	2023年宮崎市観光客、28%増の618万人 宮崎市観光統計(速報版)で、2023年に同市への観光入込客数は前年比28.5%増の618万2,000人となり、新型コロナウイルス禍前となる2019年の水準に回復。コロナ5類移行やWBCキャンプ開催が影響。
19日	2023年度本県への移住1,877世帯、都城市が先導 県によると、2023年度の県外から県内への移住者は1,877世帯、3,729人で、いずれも5年連続で過去最多。独自施策を打ち出した都城市が世帯数で前年度の4.5倍に増加したことが要因。
25日	本県推計人口、6月1日現在103万3,382人 県の6月1日時点の推計人口は103万3,382人で、前月比708人減少。前月比増加は、7人増の門川町のみ。前年同月比では、都城市のみが1.13%増加。